

とからPTAのお声掛けを頂いたことで、感じることの多い3年間を過ごさせて頂くことが出来ました。これからも微力ではありますがありますが、皆さんと一緒にPTA活動を通して成長していきたくないと思っています。皆さんの皆さんと一緒できるとうれしいです。末筆ですが、PTAをさせて頂いたことで、今まで先生方はもちろん、他の保護者の皆さんに沢山お世話になってきたことが改めて実感できました。ほんとうにありがとうございます。これからもどうぞよろしく願います。

でも、学校に来ることもなく、それでなんの不自由も感じることなかった

可能を感じていますし、この場を月の卒業生の顔になるのだと思ったときに、附中で過ごす3年間で育んでくれるものに胸が熱くなりました。

子どもたちがどんどん自分たちで考えて成長していく、あつという間の3年間、Aの園から

トイレもリニューアル
木目調でやさしい印象
土間に待

9月14日

これからの未来

新しくなったグラウ
附中生のたくさんの
思い出が、また新たな
歴史を刻んで行きま

年輪を数えてみると 50 本近くありました。
学校名が「奈良教育大学教育学部附属中学校」
に改称された。

く平和・文化・歴史を学ぶ旅く

今年の修学旅行は、二日ナ禍で五月の沖縄修学旅行が10月に延期となり、長崎へと行先変更をするようになりました。事前学習を進めていく中でも、本日に修学旅行行けるのどころかと、

不安に感じる日々を過ごしてまいりました。そのような中でも準備を進め、長崎への修学旅行を実施することができました。

1日目、気象警報が出た中、朝早くの集合でしたが、修学旅行が実施できる喜びの方が上回っているのか、とても元気に感じました。西へ西へと向かう中で、天候も回復に向かいこの上ない修学旅行日和となりました。

長崎に到着すると、平和祈念公園での平和学習でした。原爆資料館での学習、被爆体験者の講

2日目、午前中は長崎市内の名所を各グループで回り、異国情緒あふれる文化や、歴史を感じながら、グラバー園や出島などを見学しました。グループの交流を深める良い活動となりました。午後は世界遺産である軍艦

平和集会

↑
平和講



今年度の臨海実習は実施時期が延期され、10月に実施することになりました。日程も2泊3日から1泊減らし、答志島への渡航も断念せざるを得ない状況で、何とか本来の学習の意味や価値を損なわないように工夫を凝らしました。

事前学習では、講師にフリーランス学芸員の佐藤さんや、鳥羽市水産研究所の岩尾さんをお招きし、鳥羽の海についてオンライン講演会をしていただきました。

また、磯観察に向けて生物採しシートを作成しました。

臨海実習1日目は、伊勢の漁業や文化、歴史の豊かさや育むいのちの学習のために、鳥羽市立海の博物館での学習と、磯観察を実施しました。海の博物館の平賀館長からは、漁具や漁業の歴史や、海の博物館の存在する意味や価値について説いていただきました。磯観察では、講演でお世話になった佐藤さん、岩尾さんにも協力して頂き、生物を探索・分類する難しさ実感しました。生物の豊かさの他に、潮の干満の速さやゴミの多さに驚いた生徒も多かったようです。

夜は、様々な立場で伊勢の海に関わっておられる方と交流しました。

海の博物館での活動の様子

磯観察の様子

島をめぐるクルーズで、台風の影響で上陸こそできまじんでしたが、近代産業遺産としてのスケールの大きさを目の当たりにできました。

↑
めがね橋

↑
学年レクリエーション

2日目は、コース別学習を実施しました。

コースは「A・鳥羽水族館コース」、「B・鯛の養殖体験コース」、「C・鯉節工場見学と九鬼嘉隆ゆかりの地をめぐるコース」。

「D・鳥羽市水産研究所海藻満喫コース」の4コースでした。

伊勢を自然や歴史、文化、産業などの視点から、学ぶことができたのではないでしょうか。

方々をお招きし、伊勢の海と関わるようになった経緯や、やりがいや苦労、生き方について語って頂きました。

講演のようす

ドローンで記念撮影

鯛の養殖体験コース

Bコース

鯉節工場見学と九鬼嘉隆ゆかりの地をめぐるコース

Cコース

鳥羽水族館コース

Aコース

鳥羽市水産研究所海藻満喫コース

Dコース

朝の立哨指導

文化生活会全員の登校立哨指導が、2学期は10月と12月の2回、行われました。

場所は、一条通り(セブンイレブン)の横断歩道・狭間神社前・ブルの3か所です。先生も急遽参加して下さり、文化生名簿の全員が各場所にて2名ずつの配置で通学する生徒たちが集中する午前8時から8時半過ぎまでの時間帯です。

交差点の信号(青の時間)は約10秒ほど、横断歩道を必ず守り、一条通りから学校へつながる道では、歩行者は歩道を通行し、自転車は左側一列通行し、狭間神社前やブル前では、白線の内側を一列で通行し、自転車も降りて押して歩くという通学路の通行マナーを心掛けての指導でした。3学期も2月に行う予定です。

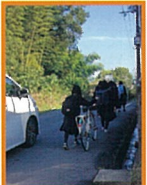
通行マナー川柳！



青信号
10秒間で
渡ってね！



白線の内側一列
はみ出さず！



自転車は
左一列
通行で！

★文化生活会全員の登校立哨指導が、2学期は10月と12月の2回、行われました。

文化生活会全員の登校立哨指導が、2学期は10月と12月の2回、行われました。場所は、一条通り(セブンイレブン)の横断歩道・狭間神社前・ブルの3か所です。先生も急遽参加して下さり、文化生名簿の全員が各場所にて2名ずつの配置で通学する生徒たちが集中する午前8時から8時半過ぎまでの時間帯です。交差点の信号(青の時間)は約10秒ほど、横断歩道を必ず守り、一条通りから学校へつながる道では、歩行者は歩道を通行し、自転車は左側一列通行し、狭間神社前やブル前では、白線の内側を一列で通行し、自転車も降りて押して歩くという通学路の通行マナーを心掛けての指導でした。3学期も2月に行う予定です。

1・2年生合同奈良めぐり

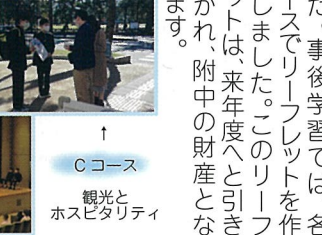
1・2年生合同奈良めぐりを実施しました。「地域の特色や課題」の思いを声に多様な視点から迫り、単なる観光ではなく、「ESD-SDGs」につながる学びにすることをねらいとして行いました。

主に立候補してくれた生徒のリーダーと教師が協働して、次のような8コースをつくりました。

- A...茶道の歴史を
受け継ぐ
- B...文化
墨 筆
- C...観光と
ホスピタリティ
- D...共生
奈良シカ
- E...奈良公園ランド
スケープコース
- F...世界遺産を
シカが喰う？
- G...共に奈良で暮らす
- H...5組
先輩の働く姿



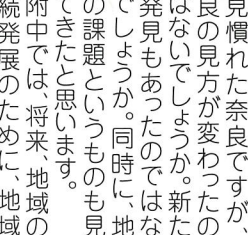
Aコース
茶道の歴史を受け継ぐ



Bコース
奈良の墨と書文化



Cコース
観光とホスピタリティ



Dコース
鹿との共生



Eコース
奈良公園ランドスケープ



Fコース
世界遺産を鹿が喰う？



Gコース
共に奈良で暮らす



Hコース
先輩の働く姿、身近な世界遺産

当日は天候にも恵まれ、全ての計画がうまく実施でき、生徒達はとても良い表情をしていました。事後学習では、各コースでリーフレットを作成しました。このリーフレットは、来年度へと引き継がれ、附中の財産となります。

見慣れた奈良ですが、奈良の見方が変わったのではないのでしょうか。新たな発見もあったのではないのでしょうか。同時に、地域の課題というものも見てきたと思います。附中では、将来、地域の持続発展のために、地域シングルマザーの雇用を創出するための様々な事業を展開中。

山田美緒さんのオンラインプログラム

11月7日(土)午後8時、Zoomアプリによる、ルワンダ在住の山田美緒さんの講演を開催しました。先生2名を含む31名の参加が始まりました。



ルワンダ在住の山田さん

大学でスワヒリ語を専攻した理由は、アフリカが好きだったからではなく、メジャーな言語では埋もれてしまっていると感じ、相談した先生の勧めから。学生時代に敢行した日本人女性初の単独自転車でのアフリカ縦断は、事前に日本一周を実行し、いろいろな問題を一つずつクリアして、大反対の両親を説得。

卒業後は、就職、結婚出産、保育システムの設立、夫の転勤でシンガポールでのセブ生活ののち、ルワンダへの移住を決意、日本食レストランを経営するも、問題に直面し、様々な経歴を持つ。現在は、3人の子を持つ母として、スラムの路上で生活する子どもがいなくなることを目指し、「hachana」(施し)Vでは、なく「hachana」(自立の機会)を「を」を信条に、ルワンダの

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

Q やりたいこと、目標がないとダメなのか？
A 決めてダメじゃない。自分も好きでやっているというより、目の前にあることに必死で取り組むことの連続。

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

Q やりたいこと、目標がないとダメなのか？
A 決めてダメじゃない。自分も好きでやっているというより、目の前にあることに必死で取り組むことの連続。

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

*前半、山田美緒さんの経歴現在の活動について(約40分)
大阪府池田市出身、小学生時代のあだ名は「ジャイ子」。中高生時代は生徒会活動に打ち込み、優等生ではなかったが、相当な負けず嫌いな。納得できない校則は、生徒会で問題提起し、正攻法での問題解決がモットー。

幼い頃から漠然と「国連などの世界の舞台で活躍したい」と考えていた。

卒業後は、就職、結婚出産、保育システムの設立、夫の転勤でシンガポールでのセブ生活ののち、ルワンダへの移住を決意、日本食レストランを経営するも、問題に直面し、様々な経歴を持つ。現在は、3人の子を持つ母として、スラムの路上で生活する子どもがいなくなることを目指し、「hachana」(施し)Vでは、なく「hachana」(自立の機会)を「を」を信条に、ルワンダの

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

Q やりたいこと、目標がないとダメなのか？
A 決めてダメじゃない。自分も好きでやっているというより、目の前にあることに必死で取り組むことの連続。

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

Q やりたいこと、目標がないとダメなのか？
A 決めてダメじゃない。自分も好きでやっているというより、目の前にあることに必死で取り組むことの連続。

Q 失敗し、壁にぶち当たった経験はないか？
A 失敗も多々、壁にぶち当たったり多く、壁にぶち当たらないといけない問題が山積みなので、落ち込んでいたのはない。失敗はゴールではなく、その先の先にある素晴らしい世界を見た。朝4時から、30分、1時間ほど、自分の思いと向き合う「内省の時間」を大切に、ネガティブな気持ちとも向き合っている。

5組と1年生の交流会

11月9日(月)、5組(特別支援学級)と1年生との交流会が、体育館にて行われました。

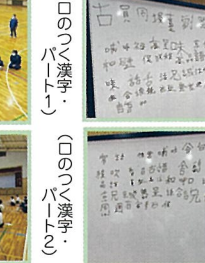
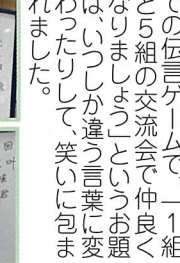
全4回企画で、一回目は1年生との交流です。新型コロナウイルスの関係もあり、高畑町と法蓮町をリレートでつないで、お互いの交流会実行委員会の生徒たちが、「交流会のめあて」や「内容」についての打ち合わせを事前に行い、当日を迎えました。

円になっての自己紹介から始まり、続いてのペアキックベースボールでは、蹴って、走って、ヤッター、あーおしいーなどの歓声や拍手など、体を使ったゲームをしました。



(左)漢字ゲーム (右)漢字ゲーム

次は、「右」などの口のついた漢字をボードに書いていく少少頭を使ったゲームや、メガホンを使った伝言ゲームで、「1組」と5組の交流会で仲良くならしよう」というお題は、いつしか違つ言葉に変わったりして、笑いに包まれました。



(左)漢字ゲーム (右)漢字ゲーム

歌「翼をください」(感想発表)

◎5組の感想
仲良くできた。いい思い出になりました。交流会を計画してくれて、ありがたう！とてもうれしかったです。

◎1組の感想
とても楽しかったです。5組と交流出来てうれしかったです。ありがとうございました。

◎取材した広報部の感想
みんな半袖で元気！みんなを見て、重心に返りましたよ！

全附連PTA研修会全国大会

第11回全附連PTA合同研修会が、10月3日(土)コロナのため、Zoomによる動画配信で開催されました。例年ですと、東京での開催のため気軽に参加できませんが、今回は会員の皆様にも多くご参加頂ける良い機会となりました。

毎年講演会や分科会があり、大変学ばせることが多い研修会です。今年度の開催スローガンは、「子どもたちとこの国の未来のために」でした。基調講演は、東北大学の川島隆太教授により「脳科学から見た学力と生活習慣の因果関係」という演題で、子どもたちの食生活、睡眠時間に関するお話を聞きました。コロナ禍で子どもたちの生活の基盤が揺るがされる今、大変勉強になりました。一日も早くコロナが収束し、また多くのPTA会員の

皆様と様々な会を開催できます日が近いことを祈っております。

◎朝食・バランスよく摂る
取した人の午前の作業効率が高いことが分かりました。

◎浅いレム睡眠
思考の整理、記憶の定着

◎学校で授業を聞いて、しっかり眠ることが記憶の定着につながります。

◎「きちんと寝て、朝食を食べる習慣が一番重要だ」と話されました。

◎「きちんと寝て、朝食を食べる習慣が一番重要だ」と話されました。

◎「きちんと寝て、朝食を食べる習慣が一番重要だ」と話されました。

◎「きちんと寝て、朝食を食べる習慣が一番重要だ」と話されました。

附中クイズ

附中にちなんだ問題です。紙面の中にヒントが記されているので、よく読んで、計算してね！

①今年、附中は創立何年になるでしょうか？

②いつ頃、附中は現在の法蓮町に移ったのでしょうか？

③ご存知ですか？「アマビエ」を探索して下さい。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で行事が中止や縮小となり、子どもたちにとっても保護者にとっても残念でならない年になりました。そんな中、109号は趣向を凝らし少しでも子どもたちの様子を見ていただくべく写真を多めに掲載しました。

予測困難なコロナウイルスなどのように立ち向かっているのか？試されているのか？試されていますが、コロナ禍を乗り越え早く平常に戻る事を願っています。

附中クイズの答え
①B、創立73年
②A、昭和34年
③は、疫病退散！
の「アマビエ」です。